

ブルガリア語¹

菅井 健太

ブルガリア語における動詞は、他のスラヴ諸語と同様に、体(アスペクト)を文法カテゴリーとして持つ。体は、不完了体と完了体に二分され、それは形態的に標示される。ほとんど全ての動詞はそのどちらか一方に属し、同じあるいは近似の意味を持つものは体のペアを成す。ただし、両方の体を兼ねるいわゆる両体動詞も幾分存在し、そのような動詞は完了体・不完了体間の形態的な区別がなく、どちらの体として使われているかは完全にコンテキストによって区別される。

基本的には、不完了体は動作の完遂を明示せずその過程を示す一方で、完了体は動作の全一性をその完遂と共に示す。

また、不完了体も完了体も全ての時制で用いられるが、完了体のみ現在時制での使用は以下の2通りの場合に限られる：a) да 構文² (助詞 да+動詞の直説法現在)において、b) 接続詞 ако「もし」、когато「～する時」などと共に。

また、過去時制における体と時制との関係については、それぞれの体の特性から、完了過去時制(アオリスト)は完了体動詞から、未完了過去時制(インペルフェクト)は不完了体動詞から形成されることが多い。

以下、例文のブルガリア語訳とそれに対する簡単な解説を示す。

(1) あの人はいもう来た。

Той	вече	дойде.
he	already	arrive, pf. aor. 3. sg.

(2) あの人はいもう来ている。

Той	е	вече	дошъл.
he	is	already	arrive, pf. part. m. sg.

¹ 例文のブルガリア語作成に際してご協力いただいたソフィア出身のブルガリア語母語話者 Мила Петроваさんと本稿の初期段階において原稿に目を通して的確な指摘をくださった寺島憲治先生に感謝いたします。いうまでもなく本稿における誤りはすべて筆者によるものです。
² いわゆるバルカン言語現象の一つに数えられ、これを他のバルカン諸語と並行させ、接続法とする向きもある。

上記の例(1)は完了体動詞が用いられ、完了過去時制によって表される。(2)は現在完了(ペルフェクト)の時制によって表される。完了過去は単一時制形で、現在完了は「助動詞 *съм*³+過去分詞⁴」という合成時制形で表される。ここで、合成時制形における過去分詞は完了体動詞から形成される。

(3) あの人はまだ来ていない。

Той	още	не	е	дошъл.
he	yet	not	is	arrive, pf. past. m. sg.

(4) あの人はまだ来ない。

Той	още	не	идва.
he	yet	not	come, impf. pres. 3. sg.

上記の例(3)と(4)は、前者は完了体動詞の過去分詞を用いた現在完了時制で、後者は不完了体動詞の現在時制で表される。

(5) あの人はもう(すぐ)来る。

Той	ще	дойде	веднага.	/	Той	идва	веднага.
he	will	arrive, pf. pres. 3. sg.	immediately	he	come, impf. pres. 3. sg.	immediately	

上記の例(5)では、二通りの表現方法が可能である。前者は、未来時制を形成する助動詞 *ще* を使って、「*ще*+動詞の直説法現在」という合成時制形で表すものである。その際、動詞は完了体と不完了体のどちらからも形成することができるが、この場合未来における動作の完遂を示す完了体動詞 *дойда* を用いる。その一方で、後者は不完了体動詞を用いた現在時制の文である。近接確定未来の意味であれば、この方法でも表すことができる。

(6) (あっ,) あの人が来た。

Той	идва.
he	come pres. 3. sg.

上記の例(6)は不完了体動詞の現在時制によって表される。

³ いわゆる *be* 動詞。助動詞としてもコピュラとしても使う。

⁴ ここでは、1の語尾を特徴とするいわゆる「1分詞」を指す。

(7) おととい、あの人が来た。

Той	дойде	завчера.
he	arrive, pf. aor. 3. sg.	the day before yesterday

(8) おととい、あの人は来なかったよ。

Той	не	дойде	завчера.
he	not	arrive, pf. aor. 3. sg.	the day before yesterday

上記の例(7)と(8)は共に完了体動詞の完了過去時制で表される。

(9) (私は)あのリンゴをもう食べた。

Вече	изядох	/	съм	изял	тази	ябълка.
already	eat, pf. aor. 1. sg.		am	eat, pf. part. m. sg.	that	apple

上記の例(9)は、完了体動詞の完了過去時制あるいは完了体動詞の過去分詞を用いた現在完了時制で表される。

(10)

а) 私はあのリンゴをまだ食べていない。

Още	не	ядох	тази	ябълка.
yet	not	eat, impf. aor. 1. sg.	that	apple

(10)

б) 私はあのリンゴをまだ食べない。

Още	не	ям	/няма	да	ям	тази	ябълка.
yet	not	eat pres. 1. sg	will not	partcl	eat, impf. pres. 1. sg.	that	apple

上記の例(10a)は不完了体動詞の完了過去時制が選択される一方で、(10b)では現在時制あるいは未来時制⁵が用いられ、動詞は不完了体が選ばれる。

例(10a)については、完了過去時制において完了体動詞でなく不完了体動詞が選択さ

⁵ 未来時制における否定には、「ше+動詞の直接法現在」ではなく、非人称動詞 няма を用いた「няма да+動詞の直接法現在」が用いられる。

れることで、その動作の一般事実的な意味合いが示される。

例(10b)については、不完了体動詞の現在時制あるいは、不完了体動詞の未来時制で表される。不完了体が選ばれることで、一般事実的な意味合いが動作の完遂を明示せずに表される。

(11) あの人は今(ちょうど)そのリンゴを食べています/食べているところです。

Той	сега	яде	ябълката.
he	now	eat, impf. pres. 3. sg.	the apple

ブルガリア語には、いわゆる進行形は存在しない。その意味は不完了体が持っているため、上記の例(11)は、不完了体動詞の現在時制によって表される。

(12)

a) 窓が開いている。

Прозорецът	е	отворен.
the window	is	open adj.

(12)

b) 窓が開いていた。

Прозорецът	беше	отворен.
the window	was	open adj.

上記の例(12a)及び(12b)は形容詞を用いるが、この形容詞は完了体動詞 *отворя* の受動過去分詞と同形である。時制は、be 動詞にあたる *съм* 動詞において標示される。

(13) 私は毎朝新聞を読む/読んでいる。

Аз	чета	вестник	всяка	сутрин.
I	read, impf. pres. 1. sg.	newspaper	every	morning

上記の例(13)のように習慣を示す場合には、不完了体の現在時制が用いられる。

(14) あなたは(あなたの)お母さんに似ている.

Ти	приличаш	на	майка	си.
you	resemble, impf. pres. 2. sg.	to	mother	your own

上記の例(14)のような場合には、不完了体動詞の現在時制が用いられる.

(15) 私はその頃毎日学校へ通っていた.

Всеки	ден	ходех	на	училище.
every	day	go, impf. ipf. 1. sg.	to	school

上記の例(15)のように、過去における習慣を示すためには、不完了体動詞の未完了過去時制が用いられる.

(16) 私はソフィアに行ったことがある.

а) Аз	съм	бил	в	София.
I	am	been	in	Sofia

б) Аз	бях	в	София.
I	was	in	Sofia

経験を表すためには、ブルガリア語では現在完了が用いられる. 上記(16a)の例は、(16b)と対比され、現在完了を用いず過去時制であらわすと、単に過去に行われた具体的な行為を述べるだけのものとなる.

(17) やっとバスは走り出した／走り始めた.

Най-после	автобусът	тръгна.
finally	the bus	start, pf. aor. 3. sg.

上記の例(17)のような場合は、完了体動詞の完了過去時制で表される.

(18)きのう彼女はずっと寝ていた.

Вчера	тя	спа	целия	ден.
yesterday	she	sleep, impf. aor. 3. sg.	whole	day

上記の例(18)は、不完了体動詞の完了過去時制で表される。ここで不完了過去時制が用いられると、眠りから覚めたかどうかははっきりと示されず、眠るという動作がプロセスとしてとらえられるのに対して、完了過去時制の場合、その眠りが過去の時点ではっきりと終了していることを示す。

(19) 私はそれをちょっと食べてみた。

Опитах	го.
try, pf. aor. 1. sg.	it

上記の例(19)では、動詞 **опитам** に既に「味を試す」というような意味も内在しているため、この一語で表す。また、この場合完了体動詞が選択され、時制は完了過去が用いられる。

(20) あの人はそれ(ら)をみんなに分け与えた。

Той	го	раздаде	на	всички.
he	it	distribute, pf. aor. 3. sg.	to	everyone

上記の例(20)は、完了体動詞の完了過去時制によって表される。完了体動詞 **дам** に接頭辞 **раз-**を付加することによりその動作の多方向性の意味合いが示される。

(21) さあ、(私たちは)行くよ！

Да	тръгваме!
partcl.	start, impf. pres. 1. pl.

上記の例(21)のような場合では、いわゆる **да** 構文が用いられる。ここでは、動詞は不完了体が選択される。

(22) 地球は太陽の周りを回っている。

Земята	се	движи	около	слънцето.
the earth	refl.	move, impf. pres. 3. sg.	around	the sun

上記の例(22)のように、恒常的な真理を表す場合、不完了体動詞の現在時制で表される。

(23) あの木は今にも倒れそうだ.

Това	дърво	всеки момент	ще	падне.
that	tree	at every moment	will	fall, pf. pres. 3. sg.

上記の例(23)では、完了体動詞の未来時制で示される。ブルガリア語では蓋然性を示す特別な動詞形態はなく、**всеки момент** という副詞的表現を用いて語彙的に上記のように表される。

(24) (私は)あやうく転ぶところだった.

За малко	не	паднах.
narrowly	not	fall, pf. aor. 1. sg.

上記の例(24)では、動詞は完了体の完了過去時制で示される。ここでは **за малко** という副詞的表現を用いて語彙的に上記のように表される。

(25) 明日お客が来るので、パンを買っておく.

Ще	купя	хляб,	защото	утре	имаме	гости.
will	buy, pf. pres. 1. sg.	bread	because	tomorrow	have, impf. pres. 1. pl.	guests

「～しておく」に相当する特別な表現はブルガリア語にはなく、上記の例(25)のような場合、完了体動詞の未来時制で表される。

(26) (私は)市場に行った時、この袋を買った.

Когато	бях	на	пазара,	купих	тази	чанта.
when	was	to	the market	buy, pf. aor. 1. sg.	this	bag

(27)

a) (私は)市場に行く時、この袋を買った.

Когато	отивах	на	пазара,	купих	тази	чанта.
when	go, impf. ipf. 1. sg.	to	the market	buy, pf. aor. 1. sg.	this	bag

b) (私は)市場に行く前に、この袋を買った.

Преди	да	отида	на	пазара,	купих	тази	чанта.
before	partcl.	go, pf. pres. 1. sg.	to	the market	buy, pf. aor. 1. sg.	this	bag

上記の例(26), (27ab)の時, 主節内の動詞はいずれも完了体動詞の完了過去時制が用いられる。その一方で, 従属節内の動詞の時制や体は様々である。(27b)については, 「*преди да* + 動詞の直接法現在」で表され, いわゆる *да* 構文を含む。いずれの場合も主節と従属節の動詞で時制の一致はない。

(28) (私は)彼が市場でこの袋を買ったのを知っていた。

Знаех,	че	той	беше	купил	/е	купил /
know, impf. ipf. 1. sg.	that	he	was	buy, pf. part.	is	buy, pf. pastp.

купи	тази	чанта	на	пазара.
buy, pf. aor. 3. sg.	this	bag	at	the market

上記の例(28)のような場合, ブルガリア語では主節と従属節の動詞を時制や体で一致させる必要がないので, 従属節内の動詞は上記のように三通りの言い方が可能である。すなわち, 過去完了(プリユスクワムペルフェクト), 現在完了, 完了過去である。過去完了は「知っていた」という時点よりも前の時点ですでに買っていたことを述べており, 現在完了は「知っていた」という時点よりも前に買っていて, かつその結果が「知っていた」という時点まで及んでいることを示す。それに対して, 完了過去は単に事実を述べているのみである。

略語

adj.=形容詞, aor.=完了過去(時制), impf.=不完了体, ipf.=未完了過去(時制), m.=男性, pastp.=過去分詞, partcl.=助詞, pf.=完了体, pl.=複数, pres.=現在(時制), refl.=再帰代名詞, sg.=単数

参考文献

- Андрейчин, Л. (1978) Основна българска граматика. София: Наука и изкуство.
 Карпов, В. А. (2007) Болгарский язык. Москва: Издательство ЛКИ.
 Маслов, Ю. С. (1981) Грамматика болгарского языка. Москва: Высшая школа.
 Ницолова, Р. (2008) Българска граматика. морфология. София: Университетско издателство «Св. Климент Охридски».

Станков, В. (1980) Глаголният вид в българския книжовен език. София: Наука и изкуство.

Стоянов, С. и др. (1983) Граматика на съвременния български книжовен език. том II. морфология. София: Издателство на Българската Академия на Науките.

佐藤純一 (1992) 「ブルガリア語」 亀井孝・河野六郎・千野栄一編『言語学大辞典第三卷』: 三省堂, 833-840

松永緑彌 (1991) 『ブルガリア語文法』: 大学書林